

のり養殖シーズン到来！

令和3年漁期ののり養殖が各地で始まり、全国に先駆けて宮城県で初入札があり、その後各地で入札が開始されました。全国的に高水温な傾向に加えて、地区によっては栄養塩不足が発生するなど厳しい状況でのスタートとなりました。

九州有明海では、雨が少なくのりの成長が遅れたものの品質は良く、ここ10年で最高の品質という地区がある一方、深刻な栄養塩不足で成長の遅れた地区があり、地域によって状況が大きく異なります。

瀬戸内海地区では、植物プランクトンの異常発生による栄養塩不足で色落ちが発生し、一部漁協では本張りを遅らせるなどの対応をとっています。また、数量を確保できないため、予定していた入札を中止する事態も発生しています。

昨漁期は赤ぐされ病、爆弾低気圧、栄養塩不足による色落ちの発生に加えて、コロナ禍での需要減少に伴う単価安により生産数量、生産金額ともに減少しました。こうした状況を受け、令和2年漁期においてはぎよさいの共済金で99億円、積立ぷらすの払戻金で83億円、合計181億円と大きな支払をしました。

今後、降雨などによって栄養塩が回復し、今漁期ののりが豊作となることをお祈り申し上げます。

令和3年度の加入実績（11月末累計）

（単位：百万円）

区 分	共済金額			漁業者積立額		
	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比
漁 獲 共 済	212,703	218,238	97%	15,230	14,100	108%
養 殖 共 済	219,827	235,989	93%	9,349	10,098	93%
特 定 養 殖 共 済	95,458	93,526	102%	3,377	3,379	100%
漁 業 施 設 共 済	17,519	17,275	101%			
地 域 共 済	10,440	11,866	88%			
合 計	555,947	576,894	96%	27,956	27,577	101%